

まなべ「熱中時代」

元気と夢を育む真鍋小学校



学校だより 令和4年5月12日

土浦市立真鍋小学校（小中一貫校） 文責 酒井 宏之

新緑の5月 スタート



5月。さわやかな新緑の季節になりました。天気の良い日は、校庭の桜の木も黄緑色の葉がとても美しく輝いて見えます。

早いもので、始業式・入学式から約1ヶ月以上たち、真鍋小学校の子供たちは落ち着いて勉強や運動に取り組むようになってきました。

5月27日（金）はスポーツフェスティバルが行われます。今年も昨年と同様に、2学年ずつ実施され、平日1日の開催となります。各学年、個人種目と団体種目の2種目になりますが、それ以外に5・6年生は2学年合同で「真鍋ソーラン」が実施されます。これから各学年とも短い時間で効率的に練習に取り組んでいく予定です。

5月からは、学習や行事が本格的に始まります。健康に留意し、充実した学校生活を送ってほしいものです。

家庭確認 「ご協力ありがとうございました」



4月18日（月）～22日（金）まで家庭確認が行われました。その期間は全学年5時間授業（1年生は1年生日課）になり、保護者の皆様にはご協力いただき、ありがとうございました。日程通りに訪問できなかったご家庭もありましたが、お陰様で、無事家庭確認を終了することができました。教職員一同、今後の学校生活に役立てていきたいと考えています。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

校長室より

運動会からスポーツフェスティバル



学校の行事改革や新型コロナウイルスの流行等々から、従来の運動会が全国的に形を変えつつあります。土浦市の小中学校も多く、多くの学校が運動会からスポーツフェスティバルと名称を変え、内容もスリム化されてきました。また、休日から平日の開催へと変更されつつあります。

かつての運動会は学校と地域をあげての大イベント、共同のお祭りのような性格でもありました。中学校では体育祭と呼ばれ、「祭典」という意味もあったようです。私が子供の頃の運動会は、地区対抗リレーがあり、出店があって、家族みんなでお昼を食べて・・・というような行事でした。今では懐かしく思えます。



真鍋小のスポーツフェスティバルの目的は、「運動に対する関心・意欲を高め、思いやりと奉仕の心を育み、心身共に健康な体を育む」としています。各競技種目への取り組みはもちろん、事前の準備や練習、係活動等を通して、目的を達成していきたいと思ひます。

当日は、子供たちのがんばる姿や笑顔がたくさん見られることを期待しています。

「校長先生と語ろう会」を始めました

4月末から、朝の活動の時間を活用して、6年生全員を対象に「校長先生と語ろう会」を始めました。1番の目的は、6年生との親睦を深めること。私は今まで校長になってから、卒業学年の子供たちと交流給食を実施してきました。しかし、コロナ禍になってからは、交流給食は厳しい状況になってしまいました。そこで今年度は、「校長先生と語ろう会」と称して、1回20分くらいの短い間ですが、自己紹介を中心に交流することにしました。毎朝4人位ずつ校長室に来てもらい、一人一人の趣味や特技、将来の夢などを語ってもらっています。今子供たちががんばっていることを知ったり、楽しい一面が見られたりもします。また、将来の夢について目を輝かせて語ってくれる子もいて、私にとってはとても楽しいひとときになっています。

現在1組が終了し、2組の子供たちと実施中です。

